

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	産業・クラフト	科目：	情報スキル	単位数：	2	指導学年：	2
使用教科書	なし	副教材	自校作成資料				

年間指導目標：

情報の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報機器を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
評価規準	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報機器を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	評価方法					配当 時数
					a	b	c	d	e	
1 学期	中間 考査	<ul style="list-style-type: none"> タッチメソッドの習得 基本的なタッチメソッドを習得させる。 ワープロの操作と入力方法 ワープロの利用に関する知識と技術を習得させ、文書の構成、構成要素の配置、文書作成の要領について理解する。 	(知)	ワープロの基本的な機能を利用して様々な文書が作成でき、ワープロの機能などを理解できている。	○	○	○	○	○	24
			(思)	ワープロを利用した基本文書の作成に興味を持ち、様々な文書を適切に選択できる。	○	○	○		○	
1 学期	期末 考査	<ul style="list-style-type: none"> 基本文書の作成 基本的な社内文書や社外文書を取り上げて、作成に関する知識と技術について理解する。 	(態)	基本的な操作等について理解し、文書を作成する技術を身に付けるとともに、適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができている。		○		○	○	

2 学期	中間 考 査	・表計算ソフトの利用の習得 基本的な操作や計算式及び関数について理解し、目的に応じて適切な表の作成する技術を身に付ける。 ・関数を利用した表の作成 基本的な操作や計算式及び関数について理解し、目的に応じて適切な表の作成する技術を身に付ける。	(知)	基本的な操作や計算式及び関数について理解できている。 それぞれのグラフの特徴やグラフの構成要素を理解できている。	○	○	○	○	○	32
		・グラフの作成 グラフの種類や構成要素、特色を理解し、表計算ソフトウェアを利用して目的に合ったグラフ作成方法について理解する。	(思)	基本的な操作や計算式及び関数について理解し、目的に応じて適切な表の作成する技術を身に付けている。 目的に応じた適切なグラフを作成し、グラフから内容を理解し、読み取れる技術を身につけている。	○	○	○		○	
2 学期	期 末 考 査		(態)	基本的な操作や関数等について理解し、表を作成する技術を身に付けるとともに、適切に表現し、主体的かつ協動的に取り組むことができている。		○		○	○	
			(知)	目的や形態に応じた適切な方法で、資料作成などの準備ができている。	○	○	○	○	○	
3 学期	学 年 末 考 査	・プレゼンテーションの技法 ビジネス活動におけるプレゼンテーションの意義を理解するとともに、基礎的な技法を身に付ける。 ・ビジネスにおけるプレゼンテーション 目的や形態によるプレゼンテーション方法の違いについて理解するとともに、プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を通して、資料の作成などの発表準備から発表までの一連の活動について理解を深める。	(思)	聴衆が理解しやすい資料や構成を作成することができる。	○	○	○		○	22
			(態)	実習や探究問題に主体的に取り組んでいる。		○		○	○	
合計										78